



安斉きみ子 (日本共産党)

1. 病床削減を許さず、地域医療の再生・充実を
2. ピアティーチャーの十分な配置を

- 問** 通常国会で「病床削減法案」が通ったが市の見解を伺う。
- 答** 今後も国、都の動向を注視しつつ、地域医療構想調整会議でしっかり議論したい。
- 問** 多摩市内の高齢者医療を行うある病院では病床削減が行われており、困る市民が生じると思うがいかがか。
- 答** この病院は市民が頼りにしている病院だと思う。
- 問** 都立病院・公社病院の民間委託へ道を開く独立行政法人化はやめるべきと考えるが見解を伺う。
- 答** 民間病院では不採算となる医療を行っており、必要に応じて東京都市長会を通じて意見を上げていく。
- 問** 教育現場からピアティーチャー(補助スタッフ)の十分な配置の要望があるが、現在の状況を伺う。
- 答** 児童・生徒の安全確保や個別学習への支援などの要望がある。
- 問** 新たな財源をつけて人を増やせないのか伺う。
- 答** 当初予算の範囲で必要な追加配当を検討する。



いぢち恭子 (ネット・社民の会)

- 公務の担い手について再度考える
——非正規雇用、民間委託、女性の活用など

- 問** 非正規公務員も正規職員同様、外部研修等を受講可能か伺う。
- 答** 「専門知識のある者を雇用する」という前提のため外部研修の対象になっていないが、雇用形態を問わず必要なスキルアップができるよう検討したい。
- 問** 市民にとっては同じ職員なので、均一な公共サービスの提供のためにも是非考えてほしい。また、有能な人材は積極的に正職への転換をはかれる体制となっているか。
- 答** 競争試験による人材登用の途は開かれている。
- 問** 外部委託の場合、市は直接の労務管理ができない。就労条件が適切か、どのように把握しているか。
- 答** 公契約条例にもとづき、雇用された人材と公共サービスの質を守っている。
- 問** 非正規公務員の4人中3人は女性であるという現状をふまえ、雇用の男女格差について見解を伺う。
- 答** 保育、介護、給食調理等の「ケア労働」の現場では、非正規の割合と女性の割合がともに高い。他と比べ低賃金の職種でもあることから、是正が必要と考える。



橋本由美子 (日本共産党)

1. 少年法改正と人権問題
2. コロナ禍での教育環境…35人学級実現からオリパラ観戦問題まで

- 問** 少年法改正が行われ、実名報道、厳罰化が促進される。(仮称)多摩市子ども・若者総合支援条例と基本的人権尊重について市長はどう考えるのか伺う。
- 答** 条例は広く若者を対象としている。基本的人権尊重、やり直しのできる社会の仕組みは重要と考えている。
- 問** 暑さとコロナ禍での小中学生のオリパラ観戦は問題が多い。実施には無理があるのではないか。
- 答** 大変苦慮する問題であるが、なによりも子どもや教職員の安全を第一に考え判断したい。
- 問** GIGAスクール構想のなかタブレットが使われ始めているが、家庭でのインターネット環境の保障についてどう考えるか伺う。
- 答** 環境整備は課題だと認識している。公的な補助も含め、引き続き検討していきたい。
- 問** 子どもたちは日々成長していく。5年かけて35人学級実現ではなく早急に実現させてほしい。
- 答** 文部科学省は中学校の実施も含め検討していると聞いている。市としても引き続き早期実現を都に要望していく。



斎藤せいや (壮士の会)

1. コロナ禍における体力の保持増進について
2. 道徳授業について

- 問** 自粛による市民の体力の低下について市としてどのように考えているかを伺う。
- 答** 健康二次被害が発生することは非常に大きな課題と認識している。情報発信などを通じて健康二次被害を防止する取組を推進していく。
- 問** 働く世代の運動状況の課題と対策について伺う。
- 答** スポーツ活動に関する意識調査を2年に1度行っている。通勤途中や家事の合間を利用して気軽にできるプログラムを紹介する取組などを進めていく。
- 問** 現在の道徳授業の課題と改善策等があるか伺う。
- 答** 各学校が重点とする内容項目とのつながりを意識した授業を展開すること等が課題である。道徳教育の全体計画等を適宜見直し、授業実践を進める。
- 問** コロナ禍で議論する学習活動について多くの課題があると思うが、教育委員会の考えを伺う。
- 答** ICT機器の活用やワークシートを共有して記入するなど、工夫して議論する活動ができるようにしている。

